

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会
「在宅での薬局薬剤師の役割と服薬支援」、
「患者の健康行動を支える薬剤師のコミュニケーション」、
「患者からの信頼を得られるサプリメントのアドバイスの仕方」、
「健康サポート薬局とセルフメディケーション」

(東京 2017 年 7 月 2 日 日曜日)開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(OPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

プライマリ・ケア認定薬剤師の研修には、必須領域 C：服薬指導・支援と H：セルフメディケーションが含まれています。これは「プライマリ・ケア」の中でも薬剤師に特徴的な領域で、研修の機会が少ないのが実情です。今回の研修は 2017 年 8 月のプライマリ・ケア認定薬剤師認定試験も視野に入れ、C：服薬指導・支援と H：セルフメディケーションを中心に、前田桂吾先生(フロンティアファーマシー)、後藤恵子先生(東京理科大学)、後藤典子先生(日本サプリメント協会)、坂口真弓先生(みどり薬局)にご講演をいただきます。本年唯一のチャンスです。奮ってご参加ください。

(細則による必須領域 A, B, C, E, G, H, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会
2	研修開催日	平成 29 年 7 月 2 日(日曜日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目 6 番 2 号 アーバンネット神田ビル 2 階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位 (認定薬剤師単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成 29 年 6 月 13 日(火)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 9,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp		

プログラム

2017年 7月 2日(日曜日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>① 「在宅での薬局薬剤師の役割と服薬支援」</p> <p style="text-align: right;">講師:前田 桂吾</p> <p>超高齢社会のピークが間近となる中、全国約 5 万 8 千軒の薬局の中で在宅医療へ参画している薬局は 1 万数千軒とされています。地域包括ケアシステムにおける薬局の役割を考えると、もっと積極的に在宅医療を支える薬剤師を増やさなければならないと感じています。</p> <p>どうしたら薬局として在宅医療にさらに積極的な関与ができるのか？在宅医療における薬剤師の立ち位置を踏まえながら服薬支援のあり方のヒントをお示したいと思います。</p> <p>(細則による必須領域 : A, C, G, I, J)</p>
11:00～12:30	<p>② 「患者の健康行動を支える薬剤師のコミュニケーション」</p> <p style="text-align: right;">講師:後藤 恵子</p> <p>残薬の解消やアドヒアランスの向上という命題に対して、一方的な服薬指導では歯が立たないというのが、世界的な常識となっています。薬剤師にも、「指導」から「ともに考える」姿勢への行動変容が求められています。「コンコーダンス」「Shared decision making (SDM)」などの概念や手法をもとに、具体的にどのようなコミュニケーションを取れば良いのかを考えていきましょう。</p> <p>(細則による必須領域 : A, B, C)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自でご持参ください)
13:20～14:50	<p>③ 「患者からの信頼を得られるサプリメントのアドバイスの仕方」</p> <p style="text-align: right;">講師:後藤 典子</p> <p>膨らみ続ける医療費の3分の1は生活習慣病に費やされ、糖尿病予備運は8千万人と言われています。今後、医療財政や皆保険制度の破たんを防ぐためには、健康寿命を5年延ばすことが 1 つの手立てです。そのために、持てる能力と立場を発揮できるのが薬剤師であり、健康サポート薬局です。生活習慣病が食生活に多く起因していることを考えると、栄養補給の手段として、国民の 7 割が利用しているサプリメントの活用の仕方をアドバイスできる能力を身につけることは意義あることです。まずは基礎知識と俯瞰できる視座を持ちましょう。</p> <p>(細則による必須領域 : A, C, E, H)</p>
15:00～16:30	<p>③ 「健康サポート薬局とセルフメディケーション」</p> <p style="text-align: right;">講師:坂口 眞弓</p> <p>2016 年 10 月から健康サポート薬局の届け出が始まりました。中学校区域で一軒の「健康サポート薬局」を目指していますが、まだ目標の数字にはほど遠い現状です。地域住民の健康をサポートするためには何に取り組めばいいのか、阻害要因は何なのか、セルフメディケーション推進のために何をすべきなのか、明日からの業務に役立てるヒントを本講座で考えましょう。</p> <p>(細則による必須領域 : A, C, E, G, H, I, J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

- 前田 桂吾 (薬剤師) 株式会社フロンティアファーマシー 社長室 室長
- 後藤 恵子 (薬剤師) 東京理科大学薬学部 教授
- 後藤 典子 (ジャーナリスト) 一般社団法人日本サプリメント協会 理事長
- 坂口 眞弓 (薬剤師) みどり薬局 東京薬科大学客員教授